

高田公園の桜を 100 年後に残そう 『桜プロジェクトJ』 活動の輪を広げよう！

上越市の大切な資産であり、貴重な観光資源である高田公園の桜！これからも 100 年後も元気な桜を目指し、活動をもっと広げていきましょう！

✽ 平成 30 年度 第 4 回の活動『桜の樹勢診断体験』(終了しました)

9月8日(土) 9:00~11:15 参加者 23名

第4回活動では、プロジェクトメンバーひとりひとりの桜を観る視点を養い、今後の活動にも活かしていこうと、樹木医も行っている樹勢(じゅせい)診断を、高田公園内で体験しました。

新潟県樹木医ネットワーク在籍の樹木医から、説明を受け、開花宣言調査木と、忠霊塔前のシダレザクラ、芝生広場のソメイヨシノの3本の診断体験を行いました。

診断の後、評価項目のそれぞれについて、体験参加者の評価を確認しあい、樹木医による講評を受け、質疑応答をしました。



✽ 平成 30 年度 第 5 回目『新発田市加治川視察』(終了しました)

10月17日(水) 8:00~17:00 参加者 25名

かつては6千本が連なり「長堤十里世界一」といわれた桜の名所、新発田市の加治川の桜堤。昭和41年、42年の2年連続の水害に伴う河川改修で、桜は伐採されてしまいましたが、その後、市民の要望が高まり、河川敷への植樹、保護活動が続けられています。

今回は、平成3年に結成され、活動を続けている「加治川さくらの里づくりの会」の皆さんの取り組みについてお話を伺い、桜堤のほか、新発田城址や桜公園などを視察しました。



新発田城址公園にも立ち寄りしました。



加治川右岸の桜並木。枝ぶりが良く、若々しく、元気旺盛！

✿ 平成 30 年度 第 6 回目 『落ち葉を使った堆肥づくり』(終了しました)

11月17日(土) 9:00~10:30 参加者7名

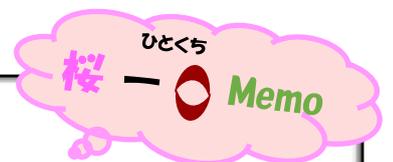


活動日当日は、気温が低く、また雨が降るなど、悪天候でしたが、集まったメンバーで、昨年作った落ち葉の山の天地返しを行いました。

来年以降の土壌改良に使うため、発酵の進んだところとそうでないところがあるため、発酵促進剤を混ぜながら空気と水分を与えて積み直しました。

これで来年の分は大丈夫！？

平成 30 年度は、これで屋外活動は終了しました。第 7 回目の活動として、講習会等を予定しています。詳細は別途ご案内します。



高田公園の桜守(さくらもり)

今春から高田公園では『桜守』という桜の専門職員2名が維持管理の作業を行っています。

『桜守』という単語を調べると、「年間を通して、公園や街路などの桜の木の世話をする人。」(デジタル大辞泉)とあります。

今年は、樹木医の助言を受け、園内の桜の監視・パトロール、肥料の施用、土壌改良、腐朽枝などの伐採・剪定、害虫駆除などを行ってきました。

今後も、園内を隈なく見廻り、辞書にある通り、桜のお世話をしていきます。公園内で見かけたら是非、お声がけください。

